

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	○	○	○
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・天候の影響もあるが、季節の変わり目であり、需要は増加している。3か月前に比べ、客の動きが活発化している。
		家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は前年比10%程度増加している。時間を掛けて商品を選ぶ客が増加しており、説明にもよく耳を傾けてくれている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・前年同期比で来客数が増加している。
		住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・競合他社のモデルハウスがオープンしたため、来客数が増加している。
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・相変わらず販売価格が低迷しており、値段を高くすると売れないのが現状である。大手スーパーやホームセンターの特売品の値段に合わせているため、単価が低下している。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月比で、来客及び売上高共に若干下回っている。秋物の動きに活気が無い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・野菜の値段が多少高めで推移している。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・月初めの天候不順も影響して、あまり売行きが良くない。競合店も良くないのか、千円以上購入の客に対する、スタンプサービスの倍率を増やしている。
		スーパー（統括担当）	単価の動き	・8月は前年並みの販売量、あるいは単価であったが、今月は95%程度に落ち込んでいる。
		スーパー（予算担当）	お客様の様子	・原油高による市場価格への影響も一巡しており、買い控えなどの傾向は見られていない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・各売場とも「オータムフェア」等のイベントによる秋物の仕掛けを行っており、来客数の増加にはつながっているものの、気温が高く薄手の生地のものしか動かず、客単価は前年同期比で30%近く下がっている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・秋のイベントを行っているが、来客数には変化がない。むしろにぎわうことが少なく、客の動きが鈍い。
		乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・先月、先々月共に前年割れが続いており、全体の販売台数が落ち込んでいる。
		乗用車販売店（管理担当）	来客数の動き	・新型車が発表になったが、店頭に来客を見に来る客が少なく、購買意欲は低下したままである。
		その他専門店〔CD〕（店員）	お客様の様子	・今まで以上に購入頻度が増加している傾向は見受けられない。また、ボーナス等を見込んで多めに購入計画を立てているといった様子もない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・友人が来るとか、法事、結婚の記念等以外には、お金を使っていない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・韓国ソウルへの企画旅行を4回実施したが、キャンペーンの効果もあり多くの集客があり成功裡に終わることができた。遅めの夏休みを取り、北海道、東北、沖縄など国内旅行に行く人も昨年より多く、国内航空券購入の来店客も含め、売上、来客数共に好調に推移した。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・月初めは予約率が良いが、中旬、下旬は伸びが少なく、最終的には実績が前年を下回っている。
		美容室（経営者）	単価の動き	・数か月間の客単価の推移は上昇傾向が見られず、前年同期比でも客単価は減少している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・雑誌などでは新しいヘアスタイルの特集をよく見るが、まだ客の反応は鈍い。	
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・競争相手との価格競争が再燃しており、歩留まりが悪くなっている。	
	その他住宅（住宅ローンセンター）	お客様の様子	・景気回復により来客数が増えたというわけでもなく、客からは周辺の景気が良くなっているという話も聞かない。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・今月は天候の影響もあるが、土日のファミリー層、中高年齢層の来客数が前年比で減少している。学生はよく来るが売上には結び付いていない。

		商店街（代表者）	それ以外	・空き店舗の増加が止まらない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・紳士物は上下共に非常に好調であったが、婦人物の上下、パンツが予想外に悪く、全体の足を引っ張っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・昼も夜も、タクシーに乗車する客は減少している。飲酒運転が問題になっていることもあり、特に、夜は飲みに出なくなっており、売上は減少している。
	悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・料飲店への販売数量が、飲酒運転撲滅運動の影響により著しく落ち込んでいる。
企業動向関連	良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・アイスマスクや重曹電解水クリーナーの新商品の受注量が増加している。
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品が寄与しており、売上が上昇している。
		繊維工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・新規取引先が順調に拡大しており、それらの取引先から商品内容によっては消費が活発化しているとの話を聞く。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電気機器は引き合いが増加しており、受注が決まったものもある。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・時期的なものもあるのか、周囲で旅行に出かける人が多くなっている。時間的余裕に加え、金銭的余裕が出てきている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・取引先での商談の合間に、株価の話、楽しいレジャーの話が出るのが最近増えてきている。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・印刷物の受注量は見込みも含めて増加している。しかし、それに伴う増員が非常に困難な状況であり、場合によっては、派遣社員などを使う必要がある。
変わらない		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・クレーンの稼働率は相変わらず良好であるが、リース業者にとっては燃料の高騰をリース単価に反映できないために、採算性を悪化させるという現象も起きている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・下請制度の見直しなどの動きもあり、受注が鈍化していたが、部材高騰による価格面の調整等も一段落したため、受注は意外と堅調に推移した。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・小口ではあるが、契約件数は着実に増加している。しかし、収益的には厳しい状況が続いている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・都市部を取引先に持つ製造業については明るい、ほとんどの業種で、景気は底の状態が続いており、特に、建築土木関係が悪い。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の資産表、決算書等を見ると、前月、前年度対比で景気が良くなっている指数は出ていない。売上、利益共に昨年と同じ、あるいはこの2、3か月変わらない状況が続いている。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注が減少しており、受注価格も低めに推移している。
	悪くなっている	○	○	○
雇用関連	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・直接雇用の動きが活発化しており、紹介予定派遣の動きが増加している。
		求人情報誌制作会社（編集者）	周辺企業の様子	・今月は平成20年度新卒採用予定の企業向けプラン案内に注力しており、前年比125%増の申込を受けている。新卒は企業の要と考え、取り組む企業が少し増加している。
		求人情報誌制作会社（従業員）	求人数の動き	・業種を問わず、求人数の動きが安定して推移している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比16か月連続で増加している。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・相変わらず求人広告の件数が伸びていない。ビルの落成や開店広告が非常に低い水準で推移している。県外から進出してきたスーパーの業績は良好であるが、中央商店街の売上が悪い。	
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・非正規型雇用にシフトする企業が増加し、求職者の就職意欲は高まっていない。	

	民間職業紹介機 関（所長）	求職者数の動き	・求職登録者数は前年度比でほぼ横ばいである。
やや悪く なっている	—	—	—
悪く なっている	—	—	—